03

体験楽習クラブ
さ～くる

さまざまな個性の
こども～青年が
実体験を通して
交流し育ち合う

体験楽習クラブ さ～くる
銭座公民館／市民会館／長崎駅などに集合して各活動場所に移動
土日や長期休み期間に毎月２回～４回程度
（内容により半日～４泊５日）
活動内容により異なります（詳細はお尋ねください）
年少児～成人
（内容により異なります。家族参加の活動は３歳以下も可）
メールまたは電話（平日日中はメールでお願いします）
体験楽習クラブ さ～くる
090-1363-5991　life_circle2005@yahoo.co.jp
http://circle2005.wixsite.com/official

イベント　多世代交流　遊び体験　子育て支援　フリースペース

facebook

団体設立の経緯と継続する中で感じていること

当会は、代表の吉田がさまざまな状況の方々との出逢いや声からその必要性を感じ、2005年に年齢や個性にかかわらない「“みんな” がしあわせな世界」を大目的として設立しました。団体名の「体験楽習」には主体的・能動的な実感を伴う“他者との共有体験”、そして「さ～くる」には活動の中だけに留まらない“循環・仲間・つながり”という想いを込めています。「社会的自尊感情」は他者からの評価で形成されますが、条件つきでなく“ありのまま” の自分がいいと思える「基本的自尊感情」は“他者との五感を通した共有体験” でこそ育まれると言われており、20年間活動を継続する中で子ども・若者の成長や変化を目の当たりにし、その事を実感してきました。

子ども／保護者の様子や声と活動のアピールポイント

無人島でのキャンプやスキー・雪遊びなどの季節に応じた野外体験活動などを通して、子どもたちは仲間とのつながりや自他への信頼を育んでいます。一方、保護者の皆様からは子どもたちの成長を感じると共に、親自身が安心してリフレッシュできる機会にもなっているという声を頂きます。また、ボランティアリーダーとして携わっている大学生・社会人も「お手伝い」や「人手」ではなく子どもたちと共に育ち合うことを目指しており、最近は子どもたちから「将来リーダーになりたい！」という声をよく聞きます。「さ～くる」が安心して居られる場で生き生きと活動しているリーダーたちの姿を見てくれているからこそで、蒔いてきた“たね”が芽を出してきています。

現状の課題と今後の展望

課題は大きく二つで、まず資金面です。活動の性質やサポート体制維持のために経費率が高くなることに加えて物価の高騰などで厳しい運営状況ですが、参加費を極力抑えられるよう模索しながら続けています。もう一つは人的問題です。前述のリーダーたちが大きな力ですが、学生は毎年巣立っていきますし、常駐スタッフは代表のみです。とはいえ、各地域や業種の中で若者たちがあたたかな“わ” をひろげてくれていますし、新たなNPOなど立ち上げ活動を始めていることは大きな喜びであり、希望です。今後も、その時々の状況や「声」に応じ“変わらないために　変わり続ける” しなやかさを持ちながら、次世代にバトンをつないでいけるよう歩みを続けてまいります。